

## 令和元年度第3回探鉱技術委員会(総会)報告

探鉱技術委員会委員長 八木 正彦

### 開催日時・場所

令和元年9月30日(月) 15:30~17:30

場所: JX 石油開発株式会社

### 参加者

八木委員長・三石副委員長・白木副委員長・加藤・佐々木・国末・金子・高橋・安河内・有坂・岡本・井川・磯野・佐藤・橋本・小林 各委員、以上16名

### 議事内容

1. 定例連絡
2. 委員会体制
  - 委員交代: 寺本委員⇒井川委員(国際石油開発帝石(株))、井川委員⇒磯野委員(国際石油開発帝石(株))、山口委員⇒金子委員(アブダビ石油(株)) 以上3名
3. 分科会活動状況
  - 砂岩分科会:
    - 第1回 9月11日(水) 講演会開催(日本堆積学会との共催)  
David Hodgson 教授(英国 Leeds 大学) 題目:「Karoo Basin, South Africa: a natural laboratory for deep-water sedimentology and stratigraphy research」
    - 第2回 12月16日(月) 講演会開催予定(日本堆積学会との共催)  
大野研也 博士(INPEX)「深海成砂岩のベッドフォーム」
  - 炭酸塩岩分科会: 第1回講演会企画中
  - 物探分科会:
    - 第1回 7月16日(火) 講演会開催  
新部貴夫(JAPEX)、清水英彦(JGI)「広帯域化を主体とした陸上地震探査技術の進展と成果」
    - 第2回講演会1~3月頃の開催を予定
  - 新技術分科会: 第2回講演会企画中
4. 令和元年度春季シンポジウム特集号準備の進捗報告
  - 10編中9編の初稿を受領
  - 査読〆切は10月10日を予定
5. 令和2年度秋田大会地質・探鉱部門シンポジウムテーマおよび講演者選定進捗報告
  - 各委員からのアンケート結果・代替テーマの紹介
  - テーマの最適化・講演者の候補について議論
  - 「国内探鉱」をテーマに取り組むことを決定
  - 具体的には女川層をテーマとした内容にする  
(仮題)「女川からモンテレーへー女川層から学ぶこと、そこから考える探鉱の将来展望」
6. 令和元年度特別見学会(地質編)の日程・コース確認(国末委員)

- テーマ「南関東ガス田の天然ガスとヨウ素の生産施設、天然ガス自然湧出現場、上総層群の貯留層（タービダイト砂岩と関連堆積物）および古地磁気逆転地層などの現場見学」
  - 見学先の一つである天然ガス鉱場が台風15号の影響で暫く停電になるが施設の被害は軽微であった。さらに下見の結果、見学地点とした地表露頭の被害もなく問題なく実行できる
7. 石油技術協会地質・探鉱部門講演数減少とその原因の究明（別紙）
8. その他
- 第3回微生物起源ガス研究会、テーマ「南関東ガス田」、7月23日開催（火）  
日本天然ガス㈱ 栗原慧氏・和氣史典氏「関東ガス田の地質と天然ガス・ヨウ素の生産」  
産総研 金子信行氏「南関東ガス田の鹹水・ガスの地球化学」  
第4回は11月前半を予定、テーマ「国内の水溶性ガス」
9. 次回 令和元年度第4回探鉱技術委員会（総会）
- 日程：11月28日（木）、会場：伊藤忠石油開発㈱

以上